ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会　会報
第64号　令和6年6月1日
発行　長岡京吟詠会
会長　本庄賀秀峰

令和６年度　公サ連まつりに参加

高橋　賀秀晶

5月19日、毎年恒例の公サ連祭りが開催され、長岡京吟詠会からも芸能発表の部で詩吟の発表の機会をいただき「月夜三叉口に舟を泛ぶ」を合吟しました。

リハーサルの時が初めての合吟となり、声はそろわず、音程は下がるは、で大変ショックを受けました。

練習したくても日がなく、不安いっぱいで当日を迎えました。

5名が危機感を持ち、小雨の中で真剣に声合わせをしその結果、ぐっとまとまった感じがして、明るい気持ちで本番に臨めました。

舞台から降りたときに公サ連の世話役さんから「前回と全然違っていてよかったよ」と声をかけていただき、とてもうれしかったです。また独吟の男性4名も、落ち着いて堂々とした立派な吟をされました。普段ほとんど一緒に吟をすることのない9名が、B チームとして力を合わせ、一つのことを終えることができたのはとても意義深く、また感慨深いものでした。

雨の中応援に来てくださった皆さん、ありがとうございました。

所属詩吟クラブ	出吟者	吟　題
うぐいす台	橋本賀秀司さん	峨眉山月の歌
優峰	尻枝賀秀道さん	西南の役陣中の作
翠峰	西迫宗文さん	偶　感
長天	辛嶋賀秀感さん	出郷の作
秀美	金谷賀秀智さん	（合吟） 月夜三叉口に舟を泛ぶ
西山	小林賀秀亨さん	
たちばな①	安藤賀秀津さん	
秀滉	山内賀秀音さん	
たちばな③	高橋賀秀晶さん	

昇格おめでとうございます！！

この度、次の方々が昇級されました。
おめでとうございます。
さらに上を目指して、楽しく稽古に励んでください。

初級　安部成輝　（5/1 付け、秀正会詩吟クラブ）
丸田明（6/1 付け、亀岡詩吟クラブ）

一級　山口勝弘　（6/1 付け、わかたけ詩吟クラブ）
山口澄子（6/1 付け、わかたけ詩吟クラブ）

（敬称略　事務局）

シリーズ　最終話
【京都と偉人】

奥 堂秀信

～今年1月から掲載いただいた京都観光文化知識も、今回で最終とさせていただきます。長い間お付き合いいただきありがとうございました～

西郷菊次郎

昭和25年から35年ごろにかけて、京都市内の子供たちに人気の武士と言えば、「桂小五郎」、「坂本龍馬」と架空人物である「鞍馬天狗」、「月形半平太」の4人でした。

鞍馬は、本名「倉田典膳」で、勤王派の桂小五郎や坂本龍馬を助け、佐幕派の新撰組局長の近藤勇と寺で決闘をしました。

「鞍馬天狗」は、大仏（おさらぎ）次郎の人気小説でしたが、名優嵐寛寿郎の主役で映画シリーズ化され、人気を博しました。子役で美空ひばりも映画主演していました。一方、「月形半平太」は、新国劇作家の行友李風が作り上げた土佐藩士“武市半平太”と福岡藩士“月形澤蔵”の合作モデルで1952年より松竹・大映・東映で若手美男俳優とその取り巻き豪華女優たちにより映画化されました。

半平太も勤王派で、最後は新選組にやられるのですが、『春雨じゃ濡れていこう』と芸者雛菊と交わした言葉に覚えがおありでしょう。

長州、土佐の武士に比し、京都では薩摩武士は目立ちませんでした。

「西郷隆盛」は、東京の上野公園にある犬を連れた銅像で有名ですが、京都ではあまり注目されていませんでしたが、最近、西郷隆盛がTVでよく取り上げられ、薩摩人の登場機会が増えて、島津斉彬・久光、大久保利通、篤姫、小松帯刀、五代友厚、東郷平八郎などの薩摩人への知識が増えました。

その中で、とくに京都とのつながりと言えば「西郷隆盛」です。

「西郷隆盛」の人柄や、攘夷派清水寺の僧「月照」との友情、そのために流された奄美大島での愛カナとの間にできた実子「西郷菊次郎」が、2代目の京都市長となり、在職中に蹴上上水道（第二琵琶湖疎水）の開通、日本初の電気軌道（路面電車）の敷設を成し遂げたことが、京都市民にとって重要なことであるとわかってきたからです。

R6/6・7月の予定

6/ 1(土)府連吟詠審査員研修会(1)　京都アスニー
6/ 2(日)クラウン吟詠コンクール　尼崎市総合文化センター
6/ 9(日)京都府連コンクール一部・ジュニア・シニア　ラボール京都
6/23(日)全丹地区吟詠剣詩舞道祭　大江町総合会館
6/29(土)府連吟詠審査員研修会(2)　ラボール京都
7/14(日)京都府連コンクール二部(指導者級)　ラボール京都
7/21(日)ジュニア・シニア燦燦優勝者決定詩吟大会　尼崎市総合文化センター

財務部部長交代のお知らせとご協力のお願い

2月25日の総会で選任された辛嶋賀秀感財務部長が、事情があって3月31日付で財務部長を辞退されました。

幹部会、運営委員会で討議をし、高橋賀秀正副会長が財務部長を兼務で引き受けてくれることになりました。

高橋賀秀正新部長の案で新たに財務部員を増やし、手分けして財務の仕事を遂行する体制が整いました。

何分不慣れな状態でお金を扱いますので、間違いの無いように皆さんのご協力をお願いします。

（事務局）

シルバー川柳のご紹介

今回も楽しい川柳をお届けします。

- 暑いので　リモコン入れると　テレビつく
- 目覚ましの　ベルはまだかと　起きて待つ
- 婆さんよ　犬への愛を　少しくれ
- マイナンバー　ナンマイダーと　聴き違え
- 万歩計　半分以上　探し物

ほっと一息、休憩タイム

魔法の言葉「ありがとう！」

あなたは今日何回「ありがとう」を言いましたか？

簡単なようで感謝の気持ちを素直に言葉に出せないのが「ありがとう！」家庭や地域、職場や詩吟クラブの活動においても、少しでもお世話になると「ありがとう」と感謝の気持ちを口に出して伝えるとコミュニケーションがはかどり、長岡京吟詠会の行動指針の一つ「和」の精神にも通じるものと思います。

魔法の言葉「ありがとう」を、生活の潤滑油として心がけて口に出して伝えてはどうでしょう。　　長 建

私と詩吟の出会い

辛嶋賀秀感

私と詩吟の出会いは25歳の時、義母の勧めでした。

流派は神心流で、私はすぐ書店に行き数冊の詩吟紹介の本を購入、そのなかで次の文言に感銘を受けて入会、研修をスタートしました。

曰く「詩吟とはわずか数分の吟詠で、作者の思いと漢詩の心を生き返らせ、自らと聞く人に感動を与える母音による声の芸術である。・・・」

そのころの詩吟人口は多く、京都の詩吟コンクールには500名以上の人が出吟、中には私が“上手やなあ！”と思う人も多く、自分の指導先生以外にも流派の内外を問わず強い求道心のもと、遠方にも指導を求めていきました。

そのかいもあってか私の吟詠力も徐々に向上、コンクールも上位入賞できるようになり人生の趣味としての詩吟がどんどん楽しくなっていきました。

しかし 40 歳を過ぎたころ勤務している外資系会社の管理職となった為にとても忙しくなり、60歳の定年まで詩吟ができませんでした。

それまでに病気で家内を亡くし、3人の娘も嫁ぎ、退職後一人長岡京市に転居してきたのがきっかけとなり、公民館で懐かしい詩吟案内の言葉を目にし、連絡を取ったのが賀堂流だったのです。

教本を見せていただき、そのはじめにある吟則3ヶ条をみて感動し、すぐ入会しました。以来早くも15年の年月が流れましたが、今でも私が思う詩吟の最大の魅力と生涯のチャレンジ課題は、「感動吟詠」に少しでも近づくことです。そして今後の指導者の一員としての私の使命と責任は、これから80歳前後までに5年後、10年後の指導力と吟詠力のある後継者を3～5名育成し、新規クラブの3～5教室の開設と10名以上の新規加入会員の参加をサポート、実現することです。それが出来たら私の「80歳以降は心から詩吟を楽しみ余生をおくる」夢が現実のものとなるのです。

「がどうだより」第7号の訂正のお願い

先日お配りした「がどうだより」第7号掲載の「創流 90 周年記念大会」の記事で、実施日が令和6年 12 月1日（土）となっておりますが、正しくは、土曜日でなく日曜日です。

訂正をお願いします。

『ぎんまい長岡京』　編集室
編集委員長　後藤賀秀香
編 集 委 員　宮小路、櫻澤、本庄（庄）
※連絡・問合せ先　後藤賀秀香
Tel: 075-331-0241